

## § 2. 利用規約

---

### CoachQuest for Business (GrowthMap Enterprise) 利用規約 v1.0

本規約は、株式会社STEAM Sports Laboratory（本店：東京都港区芝4丁目3番5号 ファースト岡田ビル4階、代表取締役：山羽 教文。以下「当社」）が提供するクラウドサービス「CoachQuest for Business」（以下「本サービス」）のトライアル利用に関する条件を定めるものです。本サービスを利用する企業ご担当者（以下「契約者」）は、本規約に同意のうえご利用ください。

### 第1条（適用）

---

- 本規約は、本サービスのトライアル期間中における当社と契約者との間の権利義務関係を定めます。
- 別途締結する個別契約（トライアル合意書・本契約・データ処理委託契約 DPA 等）が存在する場合、当該個別契約が本規約に優先します。

### 第2条（トライアル期間）

---

- トライアル期間は、契約者ごとに別途定めるものとし、原則として1ヶ月間とします。
- 双方の合意により延長または短縮できます。

### 第3条（利用料金）

---

- トライアル期間中の利用料金は無料とします。
- 本契約への移行時は別途見積りに基づき料金を定めます。

### 第4条（契約者の責務）

---

契約者は、本サービスの利用にあたり以下を遵守します。

- 対象社員に対し、本サービスの利用について事前に同意を取得すること
- 対象社員の個人情報を本サービスの利用目的の範囲内でのみ取り扱うこと

3. 本サービスを不正に利用しないこと
4. 当社の事前承認なく本サービスを第三者に提供・転貸・再委託しないこと
5. アカウント情報（ログイン認証情報）を厳重に管理し、第三者への漏洩を防止すること

## 第5条（禁止事項）

---

契約者は、以下の行為を行ってはなりません。

- 法令または公序良俗に違反する行為
- 本サービスのリバースエンジニアリング、デコンパイル、ソースコード解析
- 本サービスの動作を妨害する行為（過剰なリクエスト・スクレイピング等）
- AI コーチへの不適切な入力（ハラスメント・差別・暴力等の助長を目的とする入力）
- 当社または第三者の知的財産権・プライバシーを侵害する行為
- 本サービスの脆弱性を悪意をもって探索・公開する行為（バグ報告は [security@coachquest.ne.jp](mailto:security@coachquest.ne.jp) で受付）
- 競合サービス開発を目的とした情報収集・利用

## 第6条（サービス内容・改変・中断）

---

1. 当社は本サービスの内容を予告なく改変できます。
2. 以下の場合、サービスを一時中断する場合があります。事前通知が可能な場合は通知します。
  - システムメンテナンス
  - 障害発生時の緊急対応
  - 委託先（クラウド事業者・AI 推論基盤等）に起因する障害
  - 不可抗力（自然災害、戦争、テロ、大規模通信障害、感染症拡大による事業停止等）
3. 前項に起因する損害について、当社は本条第8項の範囲で責任を負います。

## 第7条（知的財産権）

---

1. 本サービスに関する一切の知的財産権は当社に帰属します。

2. 対象社員が本サービス内で入力したコンテンツ（対話、内省記録等）の所有権は対象社員に帰属しますが、当社は本サービスの提供・改善のために必要な範囲で利用できます。
3. 契約者が本サービス利用中に得た成長レポート・ダッシュボード等の出力物は、契約者の内部利用に限り使用できます。第三者への公表・販売は当社の事前書面同意を要します。

## 第 8 条（免責・損害賠償の上限）

---

1. 当社は、本サービスのトライアル期間中、サービスの可用性・正確性・有用性を保証しません。
2. 当社は、本サービスの利用に起因して契約者・対象社員に生じた損害について、当社の故意または重過失による場合を除き、責任を負いません。
3. 当社が損害賠償責任を負う場合の賠償額は、直接損害に限り、かつ過去 12 ヶ月間に契約者が本サービスについて当社に支払った利用料金相当額を上限とします。トライアル期間中は利用料金が無料であるため、賠償額の上限は金 1 万円とします。
4. 当社は、間接損害・特別損害・逸失利益・データの破損または喪失（バックアップによる復旧費用を含む）について、責任を負いません。

## 第 9 条（個人情報の取扱い）

---

個人情報の取扱いは別途定める「プライバシーポリシー」（§1）に従います。

## 第 10 条（AI コーチング設計原則）

---

1. 本サービスの AI コーチは、以下の 3 つの対話設計原則に基づいて構築されています。
  - **非審判性**：判断的態度を排し、本人の言葉と経験を尊重する
  - **クライアント中心**：答えを押し付けず、本人が自ら気づき・選択する対話を導く
  - **成長志向**：強みの発見と前進を促す問いを設計する
2. AI コーチとの対話内容は、当該社員以外のメンター・HR・経営層には**集約されたレポート形式でのみ共有**されます。集約形式は個人特定可能性を最小化するように設計されています。
3. 本サービスは対話を通じて組織適応シグナル（SSR）を分析しますが、その取得・分析・利用方針は「プライバシーポリシー」（§1）に明示されており、契約者は対象社員への事前の同意

取得を確約します。

4. AI コーチは医療行為・カウンセリング行為・心理的診断行為を行いません。深刻な悩み・メンタルヘルス上の課題がある場合は、産業医・精神科医・臨床心理士等の専門家への相談を推奨します。

## 第 11 条（反社会的勢力の排除）

---

1. 契約者および当社は、それぞれ相手方に対し、自己および自己の役員（業務を執行する社員、取締役、執行役、これらに準ずる者）が、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から 5 年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋、社会運動等標榜ゴロ、特殊知能暴力集団、その他これらに準ずる者（以下「反社会的勢力」という）に該当しないこと、および将来にわたっても該当しないことを表明し、保証します。
2. 一方当事者が前項の表明・保証に違反した場合、相手方は、何らの催告なく本規約および関連契約を解除でき、相手方に対し、当該違反により被った損害の賠償を請求できます。

## 第 12 条（解約）

---

1. 契約者は、トライアル期間中いつでも書面（メール含む）で解約できます。
2. 当社は、契約者が以下のいずれかに該当する場合、何らの催告なく本サービスの提供を停止または契約を解除できます。
  - 本規約に違反したとき
  - 反社会的勢力に該当することが判明したとき
  - 支払期日を経過しても利用料金の支払いがないとき（本契約移行後）
  - 監督官庁の処分を受け、または法令違反の事実が判明したとき
  - 信用不安が発生したとき（破産・民事再生・会社更生手続の開始申立等）
  - その他、信頼関係が損なわれる行為があったとき
3. 解約時、対象社員の個人情報は「プライバシーポリシー」 § 6 に従って処理されます。

## 第 13 条（モニタリング）

---

当社は、本サービスの不正利用検知・品質改善・安全管理のために、利用状況のモニタリングを行うことができます。モニタリング内容は集約された統計情報として処理し、個別の対話内容を当社スタッフが恣意的に閲覧することはありません。

## 第 14 条（輸出規制・経済制裁）

---

契約者は、本サービスを、米国輸出管理規則（EAR）、日本の外国為替及び外国貿易法、その他関連法令により禁止される国・地域・対象者への提供のために利用してはなりません。

## 第 15 条（準拠法・管轄）

---

1. 本規約は日本法を準拠法とします。
2. 本規約に関する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

## 第 16 条（規約の改定）

---

1. 当社は本規約を改定する場合、改定後の規約を本サービス上に掲載し、契約者ご担当者宛のメールで通知します。
2. 通知後 14 日以内に契約者から異議の申出がない場合、改定に同意したものとみなします。

制定日：2026 年 5 月 20 日

---